

- 問1 日本の太平洋側を流れる黒潮（日本海流）の性質と、それがもたらす影響についての説明として最も適切なものはどれですか。（2015年 山口県公立入試 類似）
- 赤道方面から流れてくる塩分濃度の高い海水で、冬でも周辺の気候を温暖にする影響がある暖流である。
 - 北極海方面から南下してくる非常に低温な海水で、夏に霧を発生させ冷害の原因となる寒流である。
 - プランクトンを豊富に含み、魚の餌が多いため、水の色が濁って見える寒流である。
 - 日本海側を北上し、対馬海峡から入って東北地方の沿岸まで影響を及ぼす暖流である。
- 問2 起伏の激しい山地が沈水することによって形成された、海岸線が複雑に入り組んだ地形を何というか、最も適切な名称を選択してください。（2019年 鹿児島県公立入試 類似）
- 砂丘
 - 干拓地
 - リアス海岸
 - 三角州
- 問3 日本アルプスの東側に位置し、本州を南北に縦断するように分布する「フォッサマグナ」の性質について述べた文として、最も適切なものを選びなさい。（2025年 千葉県公立入試 類似）
- 火山活動によって噴出された火山灰が厚く堆積してきた、関東地方に広がる赤土の層のことである。
 - プレートどうしがぶつかり合う強い力によって押し曲げられてできた、日本を代表する険しい山脈の総称である。
 - 本州を地質的に東西に分ける巨大な地溝帯であり、その境界を境に岩石や地層の重なり方が大きく異なっている。
 - 海洋プレートが大陸プレートの下に沈み込むことで形成された、太平洋の海底に続く細長い溝状の地形である。
- 問4 2万5千分1地形図において、細い実線である主曲線は10メートルごとに引かれています。標高20メートルの位置にある自然災害伝承碑から、斜面を登る方向に主曲線を3本越えた地点の標高は何メートルになりますか。（2026年 熊本県公立入試 類似）
- 30メートル
 - 80メートル
 - 50メートル
 - 100メートル
- 問5 ある都市の気象統計において、一月の平均気温が氷点下となり、八月の気温は高い一方で、年間の降水量が千ミリメートルを下回るほど全体的に少ないというデータが見られます。このような気候が形成される背景として、地形の影響を説明した文を選びなさい。（2019年 大阪府公立入試 類似）
- 広大な平野部が広がっているため、季節風が直接吹き込みやすくなっている。
 - 周囲を高い山々に囲まれているため、海からの湿った空気が遮られやすい。
 - 低緯度の島しょ部に位置しているため、一年を通して強い日差しを受ける。
 - 対馬海流の影響を強く受けるため、冬の気温が下がりにくくなっている。
- 問6 フォッサマグナとその境界に関する説明として、地名や位置関係が正しく組み合わせられているものはどれか。（2016年 愛媛県公立入試 類似）
- 東側の境界線は富山県富山市から和歌山県和歌山市付近まで続いており、福井県を縦断している。
 - 西側の境界線は石川県金沢市から愛知県名古屋市付近まで続いており、岐阜県を縦断している。
 - 西側の境界線は新潟県糸魚川市から静岡県静岡市付近まで続いており、長野県を縦断している。
 - 東側の境界線は山形県酒田市から東京都心部まで続いており、埼玉県を縦断している。
- 問7 日本の諸地域の気候について述べた次の文のうち、年間降水量が1000mmを下回り、かつ冬の平均気温が氷点下になるなど寒さが厳しく、内陸部に位置する地域に見られる気候区分はどれですか。（2016年 長野県公立入試 類似）
- 日本海側の気候
 - 中央高地の気候
 - 瀬戸内の気候
 - 太平洋側の気候
- 問8 等高線が同心円状に広がる扇状地の斜面において、その土地の性質と主な利用方法について説明したものとして、最も適切なものはどれですか。（2015年 岡山県公立入試 類似）
- 砂や礫が多く水はけがよいため、水田よりも果樹園などに利用されることが多い。
 - 標高が周囲より一段高く平坦な地形であり、主に工業団地や住宅地として開発される。
 - 土壌が常に湿っているため、古くから大規模な稲作地帯として利用されてきた。
 - 河川の最下流部に位置し、細かい泥が堆積しているため、海面名下の干拓地として利用される。
- 問9 地形図に用いられる公共施設の地図記号について、その由来や特徴を説明した文として正しいものを選びなさい。（2019年 富山県公立入試 類似）
- 警察署の記号（×）は、江戸時代の番所に置かれていた犯人を捕らえる道具である「さすまた」を交差させた形に由来する。
 - 郵便局の記号（〒）は、明治時代に郵便制度が始まった際に、世界共通で利用されるマークとして国際会議で採択された。
 - 消防署の記号は、かつての火消しが使っていた消火用の「水鉄砲」の形を図案化したもので、警察署の記号と区別されている。
 - 市役所の記号（◎）は、江戸時代にその場所が城下町の中心であったことを示すために、城の石垣を模して作られた。
- 問10 自治体が作成するハザードマップにおいて、等高線の間隔が非常に狭く、さらに針葉樹林の植生記号が記されている地域は、豪雨の際に特に注意が必要とされます。このような場所で発生する可能性が最も高い災害と、その背景について説明したものとして適切なものはどれですか。（2022年 兵庫県公立入試 類似）
- 針葉樹の葉は水を弾きやすいため、急斜面を流れる雨水が短時間で低地に集まり、大規模な洪水を引き起こす危険性が高いため。
 - 密集した針葉樹が強風によって倒れ、急斜面にある送電線や住宅を破壊する風水害の危険性が高いため。
 - 針葉樹林は保水力が極めて高いため、蓄えられた水分が地層の重みを増し、地震の際に液状化現象を引き起こす危険性が高いため。
 - 急斜面において針葉樹が広がる場所では、豪雨によって地盤が緩み、がけ崩れなどの土砂災害が発生する危険性が高いため。
- 問11 地形図上で海拔高度の等しい地点を結んだ曲線を何というか。地形の起伏や傾斜の程度を把握するために用いられる用語を答えなさい。（2022年 広島県公立入試 類似）
- 等圧線
 - 等温線
 - 経線
 - 等高線
- 問12 山地が沈降したり、海面が上昇したりすることで、かつての谷が海に入り込んで形成された、奥行きのある入り江と岬が複雑に入り組んだ海岸を何と呼びますか。（2022年 岐阜県公立入試 類似）
- リアス海岸
 - 隆起海岸
 - 三角州
 - 砂丘海岸
- 問13 地形図の時系列比較において、河川の河口付近が直線的に埋め立てられ、海上に橋が建設されるといった変化が見られる場合、その背景にある目的や社会的な仕組みについて述べた文として最も適切なものはどれですか。（2021年 京都府公立入試 類似）
- 河川から流入する土砂を効率よく田畑へ供給し、農業生産力を向上させるための大規模な土木事業として行うため
 - 過疎化対策として、あえて居住不可能な人工島を作り、観光資源としての景観維持のみを目的として整備するため
 - 公的機関である消防署や警察署を海上に孤立させて配置することで、都市部における騒音被害を最小限に抑えるため
 - 土地不足を解消して新たな都市機能を確認するとともに、交通インフラを整備して地域間の移動や物流の利便性を高めるため

答え合わせ・解説

問1	答え 1 赤道方面から流れてくる塩分濃度の高い海水で、冬でも周辺の気候を温暖にする影響がある暖流である。	黒潮は低緯度地域から熱を運んでくる暖流であり、日本の南岸の気候を温暖にする要因となっています。プランクトンが少ないため透明度が高く、太陽光を吸収して黒っぽく見えるのが特徴です。一方、プランクトンが豊富で水が濁って見えるのは寒流である親潮（千島海流）の特徴であり、日本海側を流れる暖流は対馬海流、冷害の原因となるのは親潮がもたらす冷たい風（やませ）などによるものです。
問2	答え 3 リアス海岸	山地の谷の部分に海水が入り込むことで、入り江と岬が交互に並ぶ複雑な海岸線が形成されます。この地形はリアス海岸と呼ばれ、日本では東北地方の三陸海岸、三重県の志摩半島、福井県の若狭湾、そして九州北西部の長崎県などに多く見られます。もともと山であった場所が沈んだため、平地が少なく水深が急に深くなるという特徴があります。
問3	答え 3 本州を地質的に東西に分ける巨大な地溝帯であり、その境界を境に岩石や地層の重なり方が大きく異なっている。	フォッサマグナは、地形上の単なる「谷」ではなく、地下深くまで続く地質的な境界線（地溝帯）です。この「大きな溝」を境にして、東側と西側では地層の年代や岩石の種類が明確に異なっており、日本列島の成り立ちを示す重要な地理的特徴となっています。選択肢にある「海底の溝」はトラフや海溝、「赤土の層」は関東ロームの説明です。
問4	答え 3 50メートル	2万5千分1地形図の主曲線は10メートルごとに描かれています。標高20メートルの地点から登り方向に主曲線を1本越えると30メートル、2本で40メートル、3本越えると標高は50メートルとなります。
問5	答え 2 周囲を高い山々に囲まれているため、海からの湿った空気が遮られやすい。	この統計データは典型的な中央高地の気候を示しています。中央高地は内陸の盆地などに位置するため、四方の高い山脈が障壁となり、雨や雪のもととなる湿った風が届きにくい環境にあります。その結果、全国的に見ても降水量が非常に少なくなり、さらに地表が熱しやすく冷めやすい内陸の特性から、夏と冬の寒暖差（年較差）が大きくなります。
問6	答え 3 西側の境界線は新潟県糸魚川市から静岡県静岡市付近まで続いており、長野県を縦断している。	フォッサマグナの範囲を明確に定める西側の境界は「糸魚川・静岡構造線」です。この線は日本海側の新潟県糸魚川市を起点とし、内陸の長野県を通り、太平洋側の静岡県静岡市付近へと達します。東側の境界については諸説ありますが、西側の境界ほど明瞭な一本の線として語られることは少なく、石川県や和歌山県が境界になることはありません。
問7	答え 2 中央高地の気候	周囲を標高の高い山々に囲まれているため、海からの湿った空気が届きにくく、年間降水量が1000mm未満と少なくなるのが中央高地の気候の大きな特徴です。また、海から離れた内陸に位置するため、冬の冷え込みが厳しく、一年の気温の変化（年較差）が大きくなります。
問8	答え 1 砂や礫が多く水はけがよいため、水田よりも果樹園などに利用されることが多い。	扇状地は山から流れてきた砂や礫が厚く堆積しているため、水が地下にしみ込みやすく、表面が乾きやすい（水はけがよい）という特徴があります。そのため、水が大量に必要な稲作には不向きで、古くからブドウや桃などの果樹園として利用されてきました。山梨県の甲府盆地などが代表例です。
問9	答え 1 警察署の記号（×）は、江戸時代の番所に置かれていた犯人を捕らえる道具である「さすまた」を交差させた形に由来する。	警察署の地図記号（×）は、江戸時代の番所などに配備されていた「さすまた」を2本交差させた形状から作られました。郵便局の「〒」は、当時の郵便事業を管轄していた「逓信省（ていしんしょう）」の頭文字「テ」を由来とする日本独自の記号です。消防署の記号も「さすまた」をモチーフにしていますが、1本のみの形状で警察署と区別されています。
問10	答え 4 急斜面において針葉樹が広がる場所では、豪雨によって地盤が緩み、がけ崩れなどの土砂災害が発生する危険性が高いため。	地形図上で等高線が密集している場所は傾斜が急であることを示します。針葉樹林は広葉樹林に比べて根が浅く地盤を保持する力が弱い傾向にあるため、急斜面と組み合わせることで、豪雨時に地盤が緩み「がけ崩れ」などの土砂災害を招くリスクが高まります。こうした危険箇所は、災害時の被害想定を地図化したハザードマップにおいて「土砂災害警戒区域」などに指定され、周囲の住民に注意を促しています。
問11	答え 4 等高線	地形図において標高（海拔高度）が同じ地点を結んだ線を等高線と呼びます。この線が密集している場所は傾斜が急であることを示し、間隔が広い場所は傾斜が緩やかであることを示します。地形の立体的な特徴を平面的な地図上で表現するために欠かせない要素です。
問12	答え 1 リアス海岸	入り江が複雑に入り組んだ地形は、山地が沈水することで形成される「沈水海岸」の一種です。この地形はスペイン北西部の地名にちなんでリアス海岸と呼ばれます。日本では三陸海岸（岩手県）や志摩半島（三重県）、若狭湾周辺（福井県・京都府）などが代表例です。
問13	答え 4 土地不足を解消して新たな都市機能を確保するとともに、交通インフラを整備して地域間の移動や物流の利便性を高めるため	高度経済成長期以降の日本では、都市部への人口集中に対応するため、海面を埋め立てて新たな工業用地、商業用地、あるいは住宅地を造成してきました。これに合わせて橋を架けることで、交通のボトルネックを解消し、都市全体の機能を向上させることが図られました。これは、自然地形を人間の経済活動に適した形に改変する人工的なインフラ整備の典型的な例です。